

『図案表現』 問題用紙

（制限時間 180 分）

（平成 29 年 6 月 18 日実施）

〈 テーマ 〉 主要幹線道路沿いの海を臨む戸建て店舗

1. 周辺環境

- 計画店舗の周辺は、居住住宅と別荘が混在するとともに、温泉施設や水族館があり、一部、観光地となっている。地元住民も観光客も多様な年代の老若男女が生活し、訪れる地域となっている。
- 周辺の産業は、漁業（漁港）や農業が行われており、果樹園によるくだもの生産も盛んであり、一方で観光業も盛んである。

2. 設計対象範囲及び条件

- 集客と魅力で地域に受け入れられる店舗を目指し、周辺環境にあった計画とする。施設の横には専用駐車場がある。
- 設計対象は、配置図の計画店舗のエリアとする
- 計画店舗の選定業種は、1 業種もしくは 2 業種の店舗としてもよいが、導入口（店舗入口）は一箇所とする。
- 具体的な業種を決め、所定の欄（答案用紙②）に業種名を記述し、設計主旨欄にその主旨及び店舗のネーミングを記述する。
（例）業種名：“コーヒーショップ”、“観光案内所&木工雑貨店” など
店舗名：“あおぞら屋”、“うみ家” など
- 必要な関係法令（建築基準法・消防法・食品衛生法等）を基本として計画する。
- 入り口、スロープ（バリアフリーを考慮）等、形態は自由とする。ストックヤード、事務室、トイレ、陳列ケース、棚類、レジカウンター等、その他必要に応じ計画する。

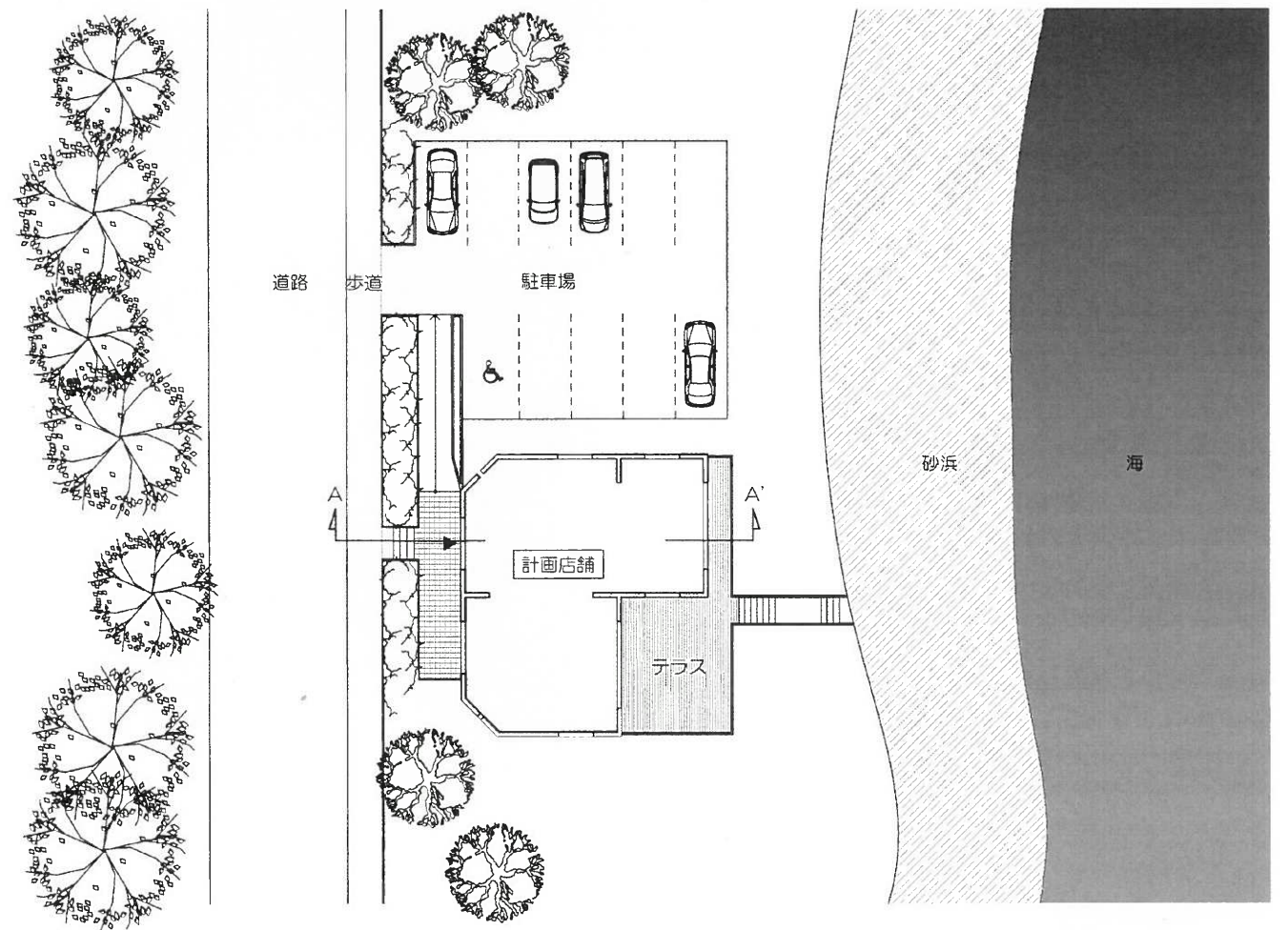
3. 設計図書

設計図書	特記事項
設 計 主 旨	200 字程度で、具体的にかつ簡潔に記述する
平 面 図	縮尺 1：100、黒鉛筆を用い（フリーハンド可）、答案用紙の所定の位置に作図する 主要室の面積、家具、仕上、寸法（単位：ミリメートル）等を記入
透 視 図 （イメージパース）	内観パースまたは外観パースとする（フリーハンド可） 着色は色鉛筆またはマーカー

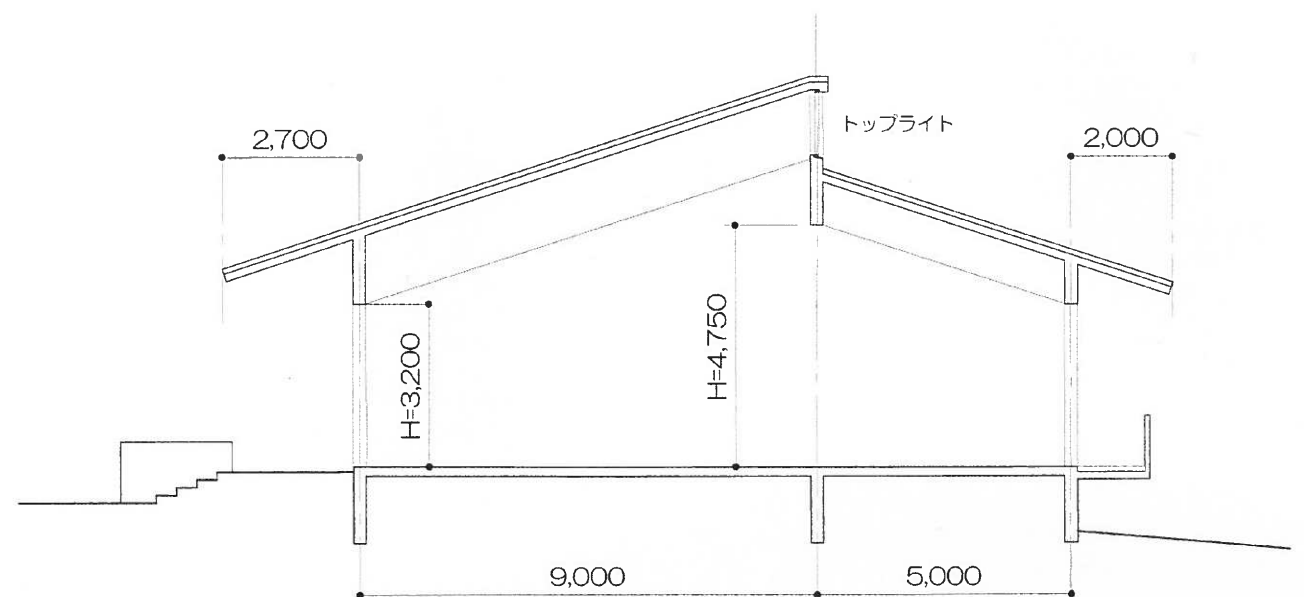
試 験 地	受 験 番 号	氏 名
1. 札 幌 2. 仙 台 3. 東 京 4. 名 古 屋 5. 大 阪 6. 広 島 7. 福 岡		

《《 この問題用紙は、計算・メモ等に使用しても差しつかえありませんが、持ち帰ることはできません 》》

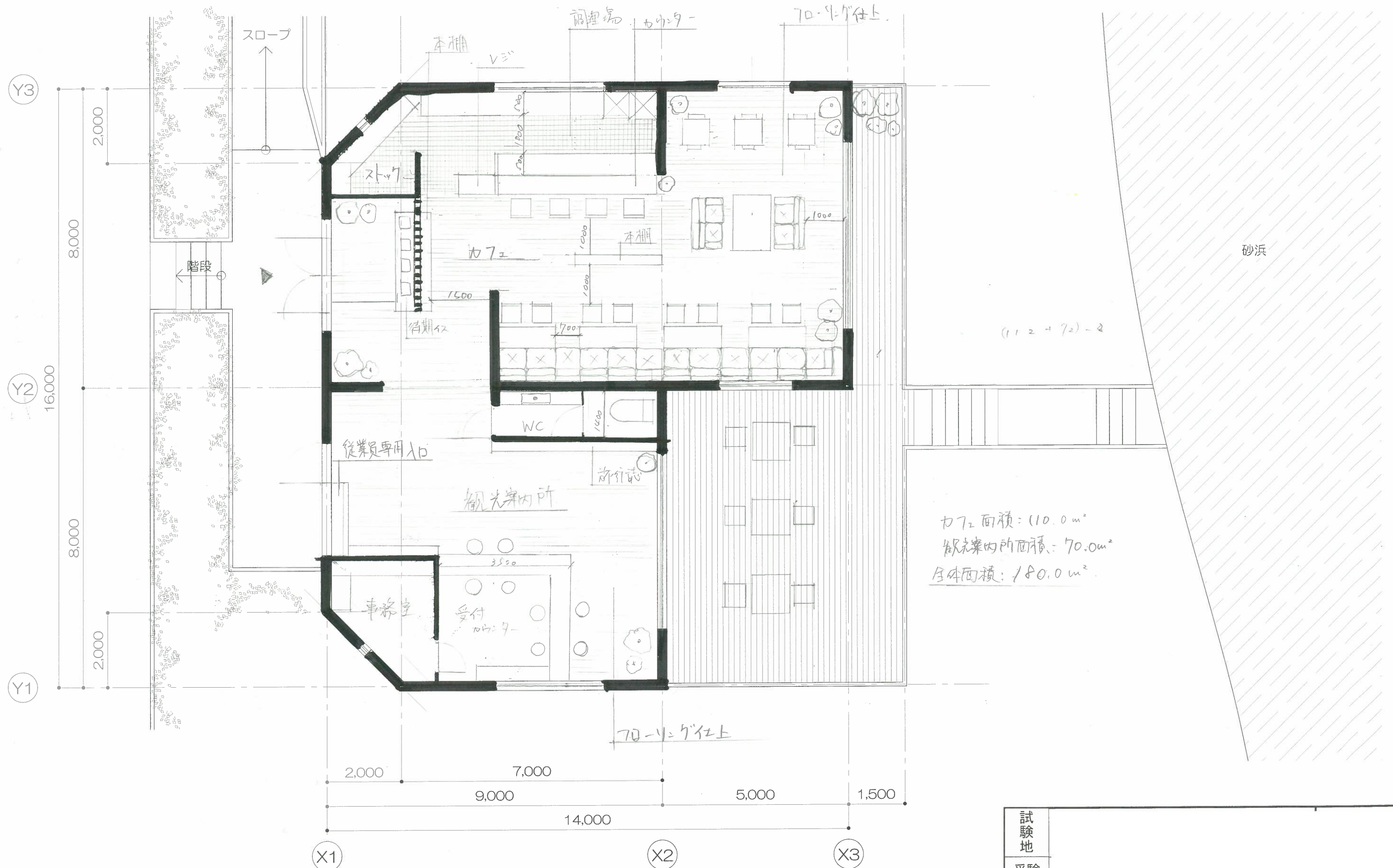
配置図 縮尺1：400



A-A' 断面図 縮尺1：150



平成29年度 商業施設士 資格試験・構想表現(実技)試験 『図案表現』 答案用紙 ①



試験地	
受験番号	
氏名	



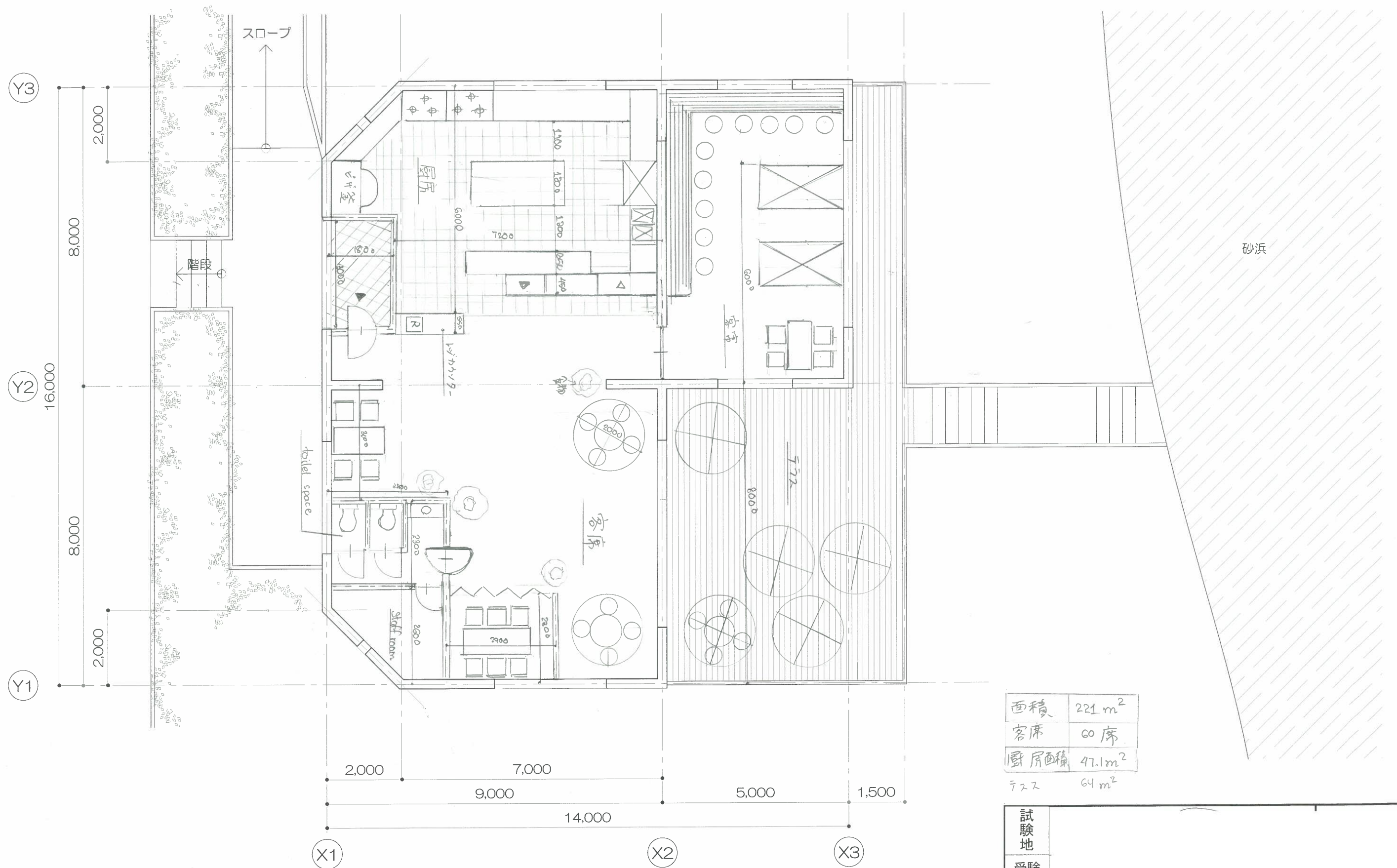
街の特産物を
味わっていただける
レストラン

透視図 (イメージパース)

旅行雑誌

設計主旨 (200 字程度)		業種名	
別荘や多々ある観光地として有名な地に、カフェと観光案内所・機能を持つ、施設を提案する。幹線道路沿いにあるこの施設には、多くの旅行者が足を運ぶことが予想されるため、カフェでは、この地域の海産物や農産物をメニューに使用し、その料理を提供することによって街の魅力を発信し、同時に案内所の併設することによって、多くの旅行者の意識をこの施設に向けたい。また、木を使用し、温かみのある空間は、地域住民にとっても憩いの場として機能し、常に多くの人が集う施設になると考える。		カフェ 観光案内所	
		店舗名	
		Trip coffee.	
		受験番号	
		氏名	

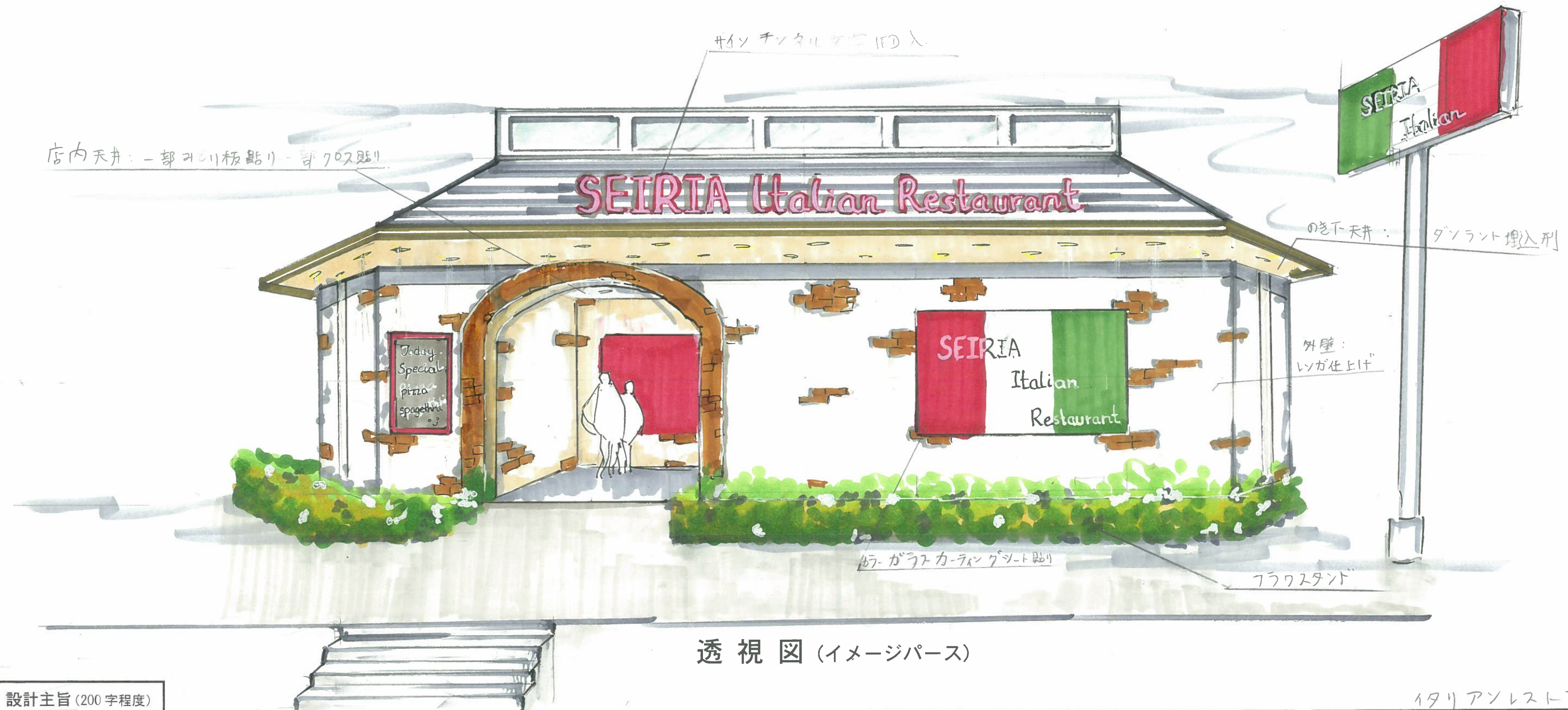
(注意) 「問題用紙」・「答案用紙①」・「答案用紙②」、すべてに受験番号・氏名等を必ず記入してください。試験終了の際に、すべての用紙を回収いたします。



設計対象平面図 縮尺1:100

面積	221 m ²
客席	60 席
厨房面積	47.1 m ²
テラス	64 m ²

試験地	
受験番号	
氏名	



透視図 (イメージパース)

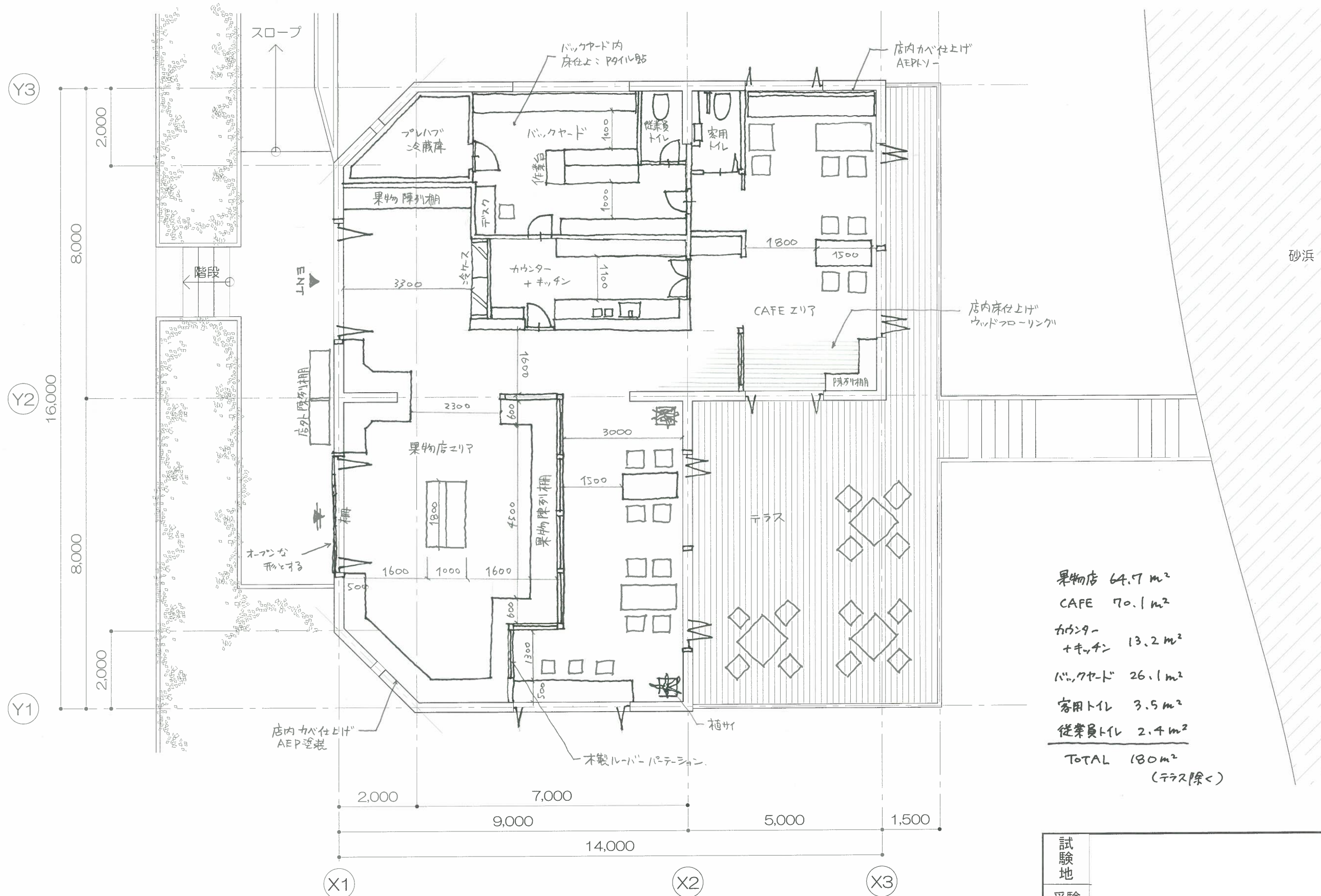
設計主旨 (200 字程度)

立地条件から見て、若い人達が集める、環境でやることを考え、この人達の嗜の多くはイタリアン料理がフックイングであると考え、本計画をくだることとした。国道から見ても、その存在が認識できるように、カウ-で表現することにしてみた。店内のデガイも石積壁面構成やある程度重厚感があふ雰囲気を作ってみた。最後になるが、厨房計画もオーブンキッチンにし、シェフの動きがお客様に分かるように、明るく清潔感のあふ厨房デザインを考えている。料理はピザとスパを本立てをメインにした店である。

イタリアンレストラン

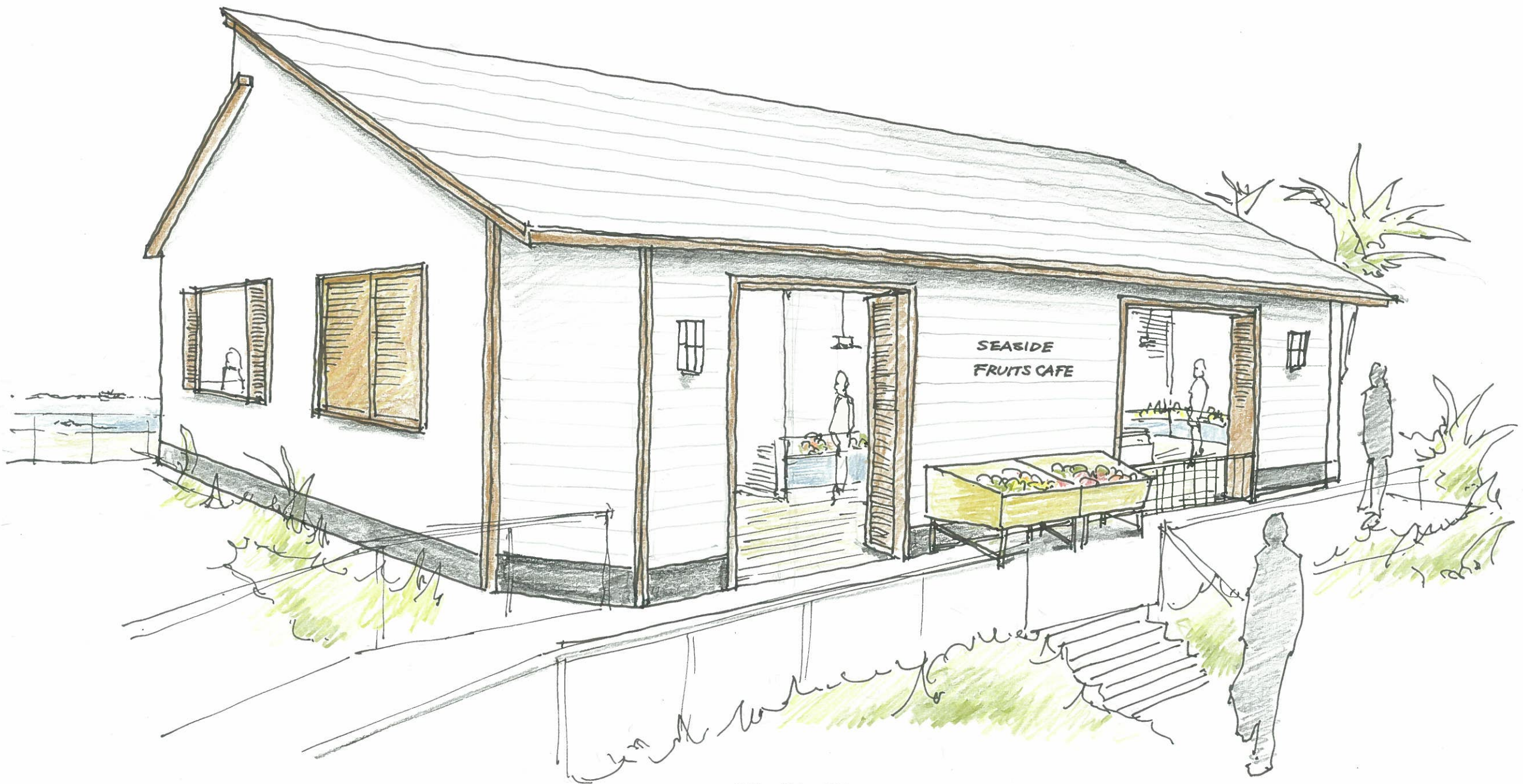
業種名	飲食店サービス
店舗名	SEIRIA Italian Restaurant
受験番号	
氏名	

平成29年度 商業施設士 資格試験・構想表現(実技)試験 『図案表現』 答案用紙 ①



設計対象平面図 縮尺1:100

試験地
受験番号
氏名



透視図 (イメージパース)

設計主旨 (200 字程度)		業種名	
この地域で生産が盛んな果物を使って地域の魅力をアピールし、より地域の活性化を図ることが目的の果物店兼カフェである。手前のエリアは観光客にお土産として果物を販売し、奥のエリアではその果物を使ったジュースやスイーツを提供する。その2つの要素で相乗効果を狙う。店舗デザインのイメージは地域にある温泉や水族館といった施設と共に非日常の空間を演出できるようリゾート調のイメージとした。		果物店 & CAFE	
		店舗名	
		SEASIDE FRUITS CAFE	
		受験番号	
		氏名	